

議 事 概 要

-
-
- 1 会議名** 第7回 長野都市圏総合都市交通計画委員会
- 2 日 時** 平成31年1月10日(木) 14:00~15:30
- 3 場 所** 長野合同庁舎5階501~503号会議室
- 4 出席者** 学識経験者：柳沢委員(委員長職務代行)、高瀬委員、藤居委員
国土交通省：中西委員(代)、永江委員、熊木委員、塩谷委員(代)、高山委員(代)
長野県：宮島委員(代)、中田委員、下里委員(代)、猿田委員、福澤委員
市 町：平澤委員、滝沢委員(代)、金子委員、坪根委員、宮尾委員、
畔上委員、佐藤委員(代)、森委員
交通事業者：荒井委員(代)、井原委員(代)、松井委員、小林委員(代)
- 5 資 料**
- ・ 次第
 - ・ 座席表、出席者名簿
 - ・ 資料1 第7回長野都市圏総合都市交通計画委員会 経緯ほか説明資料
 - ・ 資料2 「長野都市圏総合都市交通計画(案)」へのご意見と都市圏の考え方
 - ・ 資料3 長野都市圏総合都市交通計画 体制体系図
 - ・ 参考資料1 長野都市圏の新たな交通計画(実態調査編、現況分析編、将来予測編、計画編、概要版)(案)



質疑応答

1. 開 会

2. 議 事

(1) 長野都市圏の新たな交通計画（案）について

計画編：1章および2章について

- | | |
|----------------|---|
| 柳沢委員
(長野高専) | ・計画編の P6, 7 で「第 2 回計画からの変化、都市研の現況からみた課題」「パーソントリップ調査等から」みた課題を合わせ、P8 にまとめとして整理しているが、P6, 7 と P8 の対応付けは可能か。どの意見が反映されたかがわかるようにしてもらいたい。 |
| 事務局 | ・現況編や分析編等で課題を整理しているが、計画編を作成するにあたり計画編でも課題が確認できるようにしてはどうかと委員会で意見を頂き作成したが、委員の意見の通り、関係性が見えなくなっている。
・これまでの委員会には資料 1 の P5 で示した図を提示していたため、この図のような資料を 1 章や 2 章の後に再掲するなどの工夫を検討する。 |

計画編：第 3 章について

- | | |
|----------------|---|
| 柳沢委員
(長野高専) | ・計画編 p30 の図「長野市中心部のみちづくり」において、緑矢印が歩行者の回遊性向上の道路となっているが、長野市中心部のみちづくりを考えるにあたっては、善光寺周辺だけではなく、環状線や中央通りなども含め回遊性を向上させるべきではないか。歩行環境の整備という表現が望ましいのではないか。 |
| 事務局 | ・駅を中心とした青色のエリアが、第 2 回 PT 調査まで長野市の中心市街地で歩行者の優先を進めていくエリアとなっていたが、第 3 回の今回の調査で、善光寺をお参りするだけの観光行動となっている面もあるため、歩行者優先区間をもう少し広げるイメージで善光寺周辺を特出しして示した。柳沢委員のご発言の通り、両方のエリアが相乗効果で良くなるようにと考えている。 |
| 柳沢委員
(長野高専) | ・計画編 p31 について、「駐車需要も減少が見込まれる」で文章が結ばれてしまっているが、私事目的の駐車場需要も多くとあるので、来訪目的別の駐車場整備も必要だということも付け加えてはどうか。 |
| 事務局 | ・対応する。 |
| 柳沢委員
(長野高専) | ・計画編 p44 の図について、すでに公共交通網計画を立て、乗り換え拠点を決めている地域もある。地域間幹線系統と市バスが重複しないような形で拠点を設けている地域もあるため、再確認すべき。 |
| 事務局 | ・中山間地域について、ハブ&スポークが可能な場所を示したもので、市町と協議しながら、公共交通網計画も確認した上で提案している。再度確認する。 |
| 柳沢委員
(長野高専) | ・計画編 p19 に、「自動車利用そのものを抑制するモビリティマネジメントに取り組む」とあるが、モビリティマネジメントは自動車から公共交通への乗り換えを促進することで、結果として、自動車が減少するという施策と認識している。この書きぶりではモビリティマネジメント自体が自動車利用を抑制するというように捉えられてしまうのではないか。 |
| 事務局 | ・計画編 P21 に示す通り、道路整備が完了しても混雑が残ることから、公共交通利用を促進するという意図で記載している。
・誤解を生んでしまう表現になっているため、表現については調整する。 |
| 熊木委員
(国交省) | ・計画編 p13 の 3 つの柱について、「交通ネットワークの充実と公共交通の利用や手段転換を促すことを共通事項」とあるが、共通事項はどこか、1 と 2 の関係、1 と 3 の関係などを示すことはできるか。総とりまとめとして書き加えるなど、検討できるか。 |
| 事務局 | ・今回の計画編作成にあたり、これまでの交通手段ごとの施策を整理するのではなく、3 つの柱である都市圏の方向性ごとにとりまとめた結果、重複 |

	<p>するものもあり関係性が見えにくい面もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その都度、再掲すると冗長的な計画になってしまうため、アドバイス頂いたように、最後に記載するか、考え方の部分に連携・連動して取り組むなどのコメントを追加するか、わかりやすい表現を検討する。
中西委員代理 (国交省)	<ul style="list-style-type: none"> ・熊木委員の意見と同意見で、歩行という観点からいうと、歩行施策と観光施策は密接な関係性がある。項目出しだけでもしてはどうか。概要版で対応してはどうか。
柳沢委員 (長野高専)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題も含め重複する施策は出てくる。相互に影響することがわかるように整理して頂きたい。
下里委員 (長野県)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画編 p39 の「市町間、拠点間のネットワーク強化、幹線道路の整備」の中の「構想道路の整備検討(千曲大橋(仮称))」「構想道路の整備検討(犀川渡河部新橋など)」の実施主体が、「県、市町」になっているが、P40 の「リダンダンシー確保」の「構想道路の整備検討(千曲大橋(仮称)、犀川渡河部新橋など)」では「市町」となっており、整合が取れていない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・計画編 p40 の「構想道路の整備検討(千曲大橋(仮称)、犀川渡河部新橋など)」の行を削除して対応する。

計画編：第4章および概要編について

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日欠席されている国土交通省都市局都市計画調査室から3点意見を頂いている。 ・PT調査の検討結果を関係機関や関係部局間で共有し、上位計画や関連計画などへの反映や見直し、修正に取り組んでもらいたい。 ・PT調査のデータは協議会の共有物であり、いつでも引き出せるように使えるデータとして整理し、次回見直しを見据え、10年以上にわたり使い切ることが望まれる。 ・スマートシティなど新たな取組が行われ、技術革新も進むことが予想されるため、長野都市圏としても新技術に目くばせし、新しいことにチャレンジしていくことを望む。
中西委員代理 (国交省)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画編 p79 について、2018年以降の協議会メンバーを教えてください。 ・概要版について、施策の方針と主要交通施策が同じような内容が記載されている。特に、p11の歩行については近年全国で関心が高くなっているが、施策の方針と主要交通施策に同じことが書かれてしまっているため、主要交通施策については、もう少し踏み込んで書いて頂きたい。本編にはしっかりと記載がある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会メンバーについては、議題2「計画の推進体制について」の中で説明する。 ・2点目の施策の方針と主要交通施策については、主要交通施策の内容をもう少し踏み込んだ形で記載内容を修正する。
中西委員代理 (国交省)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行については特に記載をお願いします。
平澤委員 (長野市)	<ul style="list-style-type: none"> ・推進体制について、何を個別プロジェクトにするか決定するプロセスはどのように考えているのか。 ・計画編 P79 の図 4.3 の年度について、「2018年度～」となっているが、「2019年度～」の間違いではないか。
柳沢委員 (長野高専)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画編の交通施策のまとめにあるように、計画で課題になっている事業について、実施時期になったら実施主体が中心となり個別プロジェクトを立ち上げ推進していく流れになると考える。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・計画編 P79 の図 4.3 の年度については、「2019年度～」に修正する。

(2) 計画の推進体制について

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・計画編の章立て最後(P39, 40, 64, 65, 77)に施策のまとめを記載しており、その中で実施主体を記載させてもらっているが、これらのメンバーが中心となり、個別プロジェクトを実施時期に向けて対応していく考え方で進めていきたい。
-----	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・第 2 回長野都市圏総合都市交通計画までは個別事業の方向性のみを示した形であったが、道路管理者だけで出来るものでもないため、各関係機関の連携・協力のもと取り組む必要があることから、実施主体を中心に検討していきたいと考えている。
柳沢委員 (長野高専)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 3 で示している推進体制は、計画編にも盛り込むのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この推進体制は、前回までの会議で示していなかったため、本会議で方向性を承認して頂ければ、具体的に書き込みたい。 ・推進協議会は事業を実施する主体で記載しているが、国からも意見があったように膨大な PT 調査結果を有効に活用できる方法は色々あると考えており、国や学識経験者の方々には、分析の仕方も含め、必要に応じ、専門的な知見で支援頂きたい。
松井委員 (バス協会)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者の位置づけの中で、鉄道関係者は事業者ごとに記載があるが、バス関係者はバス協会となっている。実際に運行するバス協会の会員である事業者が参画できるように配慮して頂きたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・具体に実現していくための計画を推進していくものなので、個別の会社との調整も必要になると考えている。実際に推進していくメンバー選定時には、個別の事業者と、その都度調整することを想定している。 ・表現については、検討する。
中田委員 (長野県)	<ul style="list-style-type: none"> ・推進体制の中で、これまでの分科会は建設事務所単位で実施してきており、本都市圏以外の町村も入っていた。 ・次年度以降の推進体制の中でも、関係する村は計画検討に参加できるよう何か役割は示せないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・都市圏以外の村の関わりについては、観光ネットワークに関わる部分が大い。分科会に参画してもらった町村については、各建設事務所を通じて、その都度声かけをすることで対応していく。 ・観光については、バス事業者やタクシー事業者等も関わってくるため、各事業者の意見も聞きながら、個別プロジェクトのメンバーについては、今後詰めていく。
中田委員 (長野県)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別プロジェクトに関係する町村への周知については、分科会の中でしっかり体制を整えて頂きたい。
柳沢委員 (長野高専)	<ul style="list-style-type: none"> ・分科会等の体制について計画編に書き加えることはできるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の提案は素案であり、推進協議会から波及して設立するプロジェクトであるため、表現の仕方は今後検討する。

3. その他

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の内容について、他に意見等あれば、意見シートまたはメールにて 1 月 23 日までに連絡をお願いします。 ・意見シートの内容も含めて反映し、委員長および委員長職務代行に内容を確認して頂き最終版としたい。
柳沢委員 (長野高専)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長および委員長職務代行に一任する形で良いか。
全員	<ul style="list-style-type: none"> ・承認

4. 閉 会

以上